

## 第 6 学 年 音 楽 科 学 習 指 導 案

6 年 2 組 指 導 者 石 田 千 陽

### 題 材 曲に込められた思いを表現しよう

#### 1 本題材で子どもが創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解するよさやその視点。

#### 2 本題材で、各教科等の本質（見方・考え方）の創出と受容、転移を行っている子どもの姿

本学級の子どもたちは、これまでに曲想や音楽の構造、歌詞の内容に着目した学習を経験しているが、新しい曲に出合うと感じ取った曲想のみで表現しようとする姿が見られる。このような子どもたちが、曲の特徴にふさわしい表現をするために、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解するよさやその視点を見出す学習に取り組む。このことは、どんな曲に出合った際も、曲の特徴を捉え、ふさわしい表現を考えて歌ったり、演奏したりする楽しさを味わうことにつながるであろう。

本題材で扱う「ふるさと」は、ゆるやかな旋律により、曲想を感じ取りやすい楽曲である。また、故郷を思う気持ちが歌詞だけではなく、八分音符や跳躍音にも表れているため、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解しやすい。その関わりを理解することで、強弱や速さ等を視点に「ふるさと」の特徴を捉え、ふさわしい表現を行おうとすることができる。そして、題材内のつながりや領域・分野を超えた他の曲でも、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解することのよさやその視点を自在に活用していくことによって、歌ったり、演奏したりする楽しさをさらに実感できるのではないだろうか。

そこで、以下のような支援を具体化し、本題材でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 曲との出合いの際に、範唱ではなく、オーケストラ演奏及び歌詞を提示する。そうすることで、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解することができるようにする。【創】
- 強弱や速さ等の視点を明示化しながら、ふさわしい表現を試したり、自己評価したりする活動を設定する。そうすることで、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解するよさを捉え、表現に生かそうとすることができるようにする。【受】
- 題材後半では、「ふるさと」以外の歌唱曲や他の分野である器楽曲を表現する活動を仕組む。そうすることで、「ふるさと」で学んだ曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを生かして表現しようとするようにする。【転】

#### 3 本題材の目標

- 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解するよさやその視点を見出し、曲の特徴にふさわしい表現を行おうとすることができるようにする。
- 曲の特徴を捉え、ふさわしい表現について考えることで、表現する楽しさを味わうことができるようにする。

#### 4 本題材における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 ○自然で無理のない、響きのある歌い方で歌っている。	○曲の特徴を捉え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○曲の特徴にふさわしい表現を行おうとしている。

#### 5 指導計画（全 4 時間）


第 1 次 「ふるさと」の特徴を捉える（1 時間）

第 2 次 曲の特徴にふさわしい表現を行う（3 時間）【本時 1 / 3】

6 本時案 【令和2年10月30日 13:35~14:20 音楽室】

(1) ねらい 「ふるさと」にふさわしい表現を試したり、自己評価をしたりすることで、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解し、そのよさを捉えることができるようにする。

(2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
1 「ふるさと」を歌う。(10分) ・曲想 ・歌詞の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>今日は、「ふるさと」の歌い方を考えていくよ。</li> <li>落ち着いた感じが出せるように、なめらかに歌ってみよう。</li> </ul> <p>B なめらかすぎて、寂しい感じがしたよ。 A 私は、平坦すぎて、思いがこもっていないように感じたよ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「ふるさと」らしい歌い方を考えよう。</p> </div>	<p>○強弱や音の高さ等の視点を明示化し、考えた歌い方を試す活動を設定する。そうすることで、曲想だけでなく、音楽の構造や歌詞の内容に着目しながら歌うことができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【受】</p>
2 「ふるさと」の曲の特徴にふさわしい表現を考える。(25分) ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり ・曲の特徴にふさわしい表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌詞と楽譜をもう一度よく見て、どのように歌ったらよいか考えてみよう。</li> <li>3段目の歌詞は、思いが込められている感じがするから、強く歌ってみよう。</li> <li>あれ、いきなり強くしすぎて、2段目とつながらないよ。</li> </ul> <p>A 3段目の「めぐりて」の部分の音が高くなっているから、そこを目指して強く歌ってはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今さっきよりも、「ふるさと」らしく歌うことができた気がするよ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どうして「ふるさと」らしく歌うことができたのかな。</p>  </div>	<p>○試した歌い方に対して、自己評価をする活動を設定する。そうすることで、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを視点に、ふさわしい表現について考えることができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【受】</p> <p>○曲の特徴にふさわしい表現ができた理由を考えるように促す。そうすることで、曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解するよさを自覚することができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【受】</p>
3 自分の歌い方を振り返る。(10分) ・曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>曲の感じと強弱を意識したからだよ。</li> </ul> <p>A <u>それに加えて、歌詞の内容もつなげて考えると、3段目の歌い方がとてもよくなったよ。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li><u>曲の感じと強弱や音の高さ、歌詞の内容をつなげて考えるとよいのだね。</u></li> </ul> <p>B 歌い方を考えることは難しかったけど、前より歌うことが楽しくなったよ。</p>	

(3) 板書計

10/30 (金) 「ふるさと」らしい歌い方を考えよう。

曲の感じ ↓ 落ちた おだやか

強弱 + 音色

変化

歌詞の内容 「めぐりて」を強くする

高さ 音が高いところは強めに

やい声で → 少しだけ!

3段目をきわだたしたい! → 少し弱く

だげん強くする → ビー★

少し強めに 落ちるように

強弱 なのはら 強い